

2022年度 女子ハンドボール部 メンバーインタビュー

スローガン

奮輝

| | | |
|------|-------------------------|---|
| 部員数 | 21~40人 | 主な成績 |
| 所属学群 | 体育専門学群, 人間学群, 情報学群, 医学群 | 2021秋季関東学生リーグ戦 第3位 2021全日本インカレ ベスト16 |
| 練習場所 | 屋外ハンドボールコート | 2022春季関東学生リーグ戦 第3位 |

酒井 優貴子(体育4年/主将)
長瀬 亜矢子(体育2年)

— 私が目指す「ハンドボール」

酒井

チームビジョンに掲げている「全員が愛にあふれ熱く輝く」ここに全員が向かっていけるようなアプローチを日々考えて、まずは自分が一番熱くなれるようにしています。また自分は推薦入学なので、自分が得てきた経験を後輩に伝えて、チームの底上げを意識しています。

長瀬

個人として、チームビジョン「全員が愛にあふれ熱く輝く」に向かって、チームメイトとしっかりコミュニケーションを取り、チームを盛り上げる人になりたいです。ビジョンのお陰で、結果的に私だけでなく、チームメイト同士のコミュニケーションが増えました。今のチームは全員がビジョンに向かって行けていると思います。また、私は一般入学なので、推薦の学生に比べたらハンドボールの知識・経験が少ないですが、自分よりも経験が豊富な後輩や先輩、同期からハンドボールを学びたいと思っています。

— 筑波大学をどう思っていた？

酒井

私は高校2年まで筑波大学について詳しく知りませんでした。進路を考え始めた時に、恩師が筑波大学出身と聞き、練習の見学に行くことを勧められて見に行きました。その時の印象として、学生一人ひとりが、主体的に取り組み声を出し合っていたので、私もここでハンドボールがしたいと思い、筑波大学を目指すようになりました。

長瀬

学生が主体となってトップレベルで取り組んでいる印象でした。高校の恩師が筑波大学出身で、2つ上の先輩が筑波大学に進学していました。私が高校生の時に、先生や先輩に、筑波大学について聞いたところ、短い時間で質の高い練習を行い、それを学生が自主的に取り組んでいると聞きました。またインカレ準優勝という結果も出していたので、国立大学で競技もトップレベルの筑波大学に進学したい、と思ってました。



— 今のチームで学んだこと、チームの好きなところ

酒井

みんな人生楽しそうで、学年問わず伸び伸びとハンドボールができてこの環境が好きです。学んだことは、全員が自立しているので、主将だけが頑張るのではなく、全員が頑張っているのが、大変な時に助けてもらったりして、良好な人間関係の素晴らしさを身を持って体験できたことです。



長瀬

チームの好きなのところは、全員が和気藹々としていて、ハンドボールを楽しんでいるところです。学んだことは、学年関係なく、チームをより良くしようとするためには、発言だったりコミュニケーションが必要だと思います。私はまだ未熟ですが、そういったことを自然とできるようになったことが学んだことです。

— これからの目標(直近の目標、人生の目標)

酒井

チームの目標としては、日本一を目指しています。個人としては、大学を卒業してもハンドボールをまだ続けたいので、プレイヤーとして活躍し、その後はハンドボールが大好きと思ってもらえるような指導をしたいです。

長瀬

卒業後は、具体的なことはまだ決めていませんが、女子ハンドボール部で学んだ主体性を生かせるような仕事をしたいと思っています。



— 未来のチームメイトに一言

酒井

筑波大学は広い分野が学べるところで、自分が求めれば専門的な人が多くいるので、なんでも学べる環境だと思います。ハンドボール部に入ったら熱い仲間たちと最高の経験ができる4年間になるので、ぜひ来てほしいです。

長瀬

筑波大学は競技も勉強も、トップレベルで学べる環境だと思います。ハンドボールを高校より充実させたかったり、色々なことを学びたいと思ってる方は、ぜひ入学して、一緒にハンドボールをしましょう！

